

第 3 回

熊本県議会

国際スポーツ大会推進特別委員会会議記録

令和元年9月19日

開 会 中

場所 第 1 委 員 会 室

第3回 熊本県議会 国際スポーツ大会推進特別委員会会議記録

令和元年9月19日(木曜日)

午後0時58分開議

午後1時51分閉会

本日の会議に付した事件

- (1) 2019 女子ハンドボール世界選手権大会熊本開催に関する件
- (2) ラグビーワールドカップ 2019 熊本開催に関する件
- (3) 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に関する件
- (4) 国際スポーツ大会の成功に向けた取り組みに関する件
- (5) 付託調査事件の閉会中の継続審査について

出席委員(12人)

委員長 池田和貴
副委員長 淵上陽一
委員 藤川隆夫
委員 城下広作
委員 松田三郎
委員 吉永和世
委員 溝口幸治
委員 西聖一
委員 内野幸喜
委員 高野洋介
委員 橋口海平
委員 松野明美

欠席委員(なし)

委員外議員(なし)

説明のため出席した者

国際スポーツ大会推進部

部長 寺野慎吾

政策審議監 千田真寿

国際スポーツ大会

推進課長 坂本久敏

国際スポーツ大会

推進課政策監 奥園栄純

知事公室

政策調整監 津川知博

くまモングループ課長 浦田美紀

総務部

首席審議員兼人事課長 小原雅之

私学振興課長 木村和子

企画振興部

地域・文化振興局長 倉光麻里子

企画課長 浦田隆治

地域振興課長 池永淳一

文化企画・世界遺産

推進課長 内藤美恵

健康福祉部

健康福祉政策課長 下山薫

健康危機管理課長 上野一宏

首席審議員兼

障がい者支援課長 永友義孝

環境生活部

首席審議員

兼環境政策課長 横尾徹也

自然保護課長 山下裕史

商工観光労働部

総括審議員兼政策審議監

兼商工政策課長 藤井一恵

観光経済交流局長 小金丸健

観光物産課長 上田哲也

首席審議員兼国際課長 波村多門

農林水産部

首席審議員

兼農林水産政策課長 渡邊泰浩

流通アグリビジネス課長 井上克浩

土木部

政策審議監 藤本正浩

監理課政策調整審議員 久保田健二

都市計画課審議員 弓削真也

教育委員会

教育理事 青 木 政 俊
教育政策課長 上 塚 恭 司
体育保健課長 西 村 浩 二

警察本部

参事官兼警務課長 平 良 俊 司
参事官
兼生活安全企画課長 上 田 栄 治
参事官兼地域課長 木 庭 俊 昭
交通規制課長 原 田 聖 哉
理事官兼警備第二課長 春 日 克 友

事務局職員出席者

政務調査課主幹 西 野 房 代
政務調査課審議員 松 永 隆 則

午後0時58分開議

○池田和貴委員長 定刻前ですが、皆さんお集まりのようでございますので、ただいまから、第3回国際スポーツ大会推進特別委員会を始めさせていただきたいと思えます。

欠席や遅刻の連絡はありません。

それでは、議事に入ります。

お手元に配付しております本日の次第に従い、まず執行部から一括して説明を受け、その後、質疑は議題ごとに行いたいと思えます。

なお、委員会の運営を効率的に行うため、説明につきましては着座にて簡潔にお願いいたします。

それでは、議題1、2019女子ハンドボール世界選手権大会熊本開催に関する件について、説明をお願いいたします。

○坂本国際スポーツ大会推進課長 よろしくお願ひします。

本日お配りしております資料は、第3回国際スポーツ大会推進特別委員会資料と、女子ハンドボール大会のパンフレットの2点でございます。

それでは議題1、2019女子ハンドボール世

界選手権大会熊本開催に関する件について御説明いたします。

1ページの大会概要をごらんください。

下段の左側の表で、参加24カ国のグループ分け、予選会場、主な予選開始時間を整理しております。

それでは、2ページにまいります。

2ページの一番上にごございますように、(5)マッチスケジュール、チケット販売概要につきましては、もう1つあります別添のパンフレットに詳細を記載させていただいております。

その下に、(6)開催会場として会場の概要を記載しております。そのうち中段にあります会場内のイメージにつきましては、前回よりも、より実際の会場のイメージに近いものを記載させていただいております。

次に、3ページをごらんください。

(7)開閉会式等でございます。これにつきましては、まだ詳細を調整中でございます。現時点での式次第案のイメージということで記載しているところでございます。

次に、4ページをごらんください。

(8)大会公式スポンサーの決定でございます。国際ハンドボール連盟からは、3社以上のスポンサーの確保を求められ、株式会社イズミ、オムロン株式会社、株式会社肥後銀行の3社に御賛同いただき決定されたところでございます。

下段の2、チケット販売につきましては、2試合目以降を観戦される方向けのクーポン券付きチケットや企業向けのサポートカンパニー制度の創設、旅行商品造成等の取り組みを行っております。

その下の5ページをごらんください。

3、誘客計画(1)取り組み状況でございます。

上段の表にありますように、観戦者数目標30万人を達成するための区分ごとの入場者数目標と、その取り組み状況を整理してございま

す。この中で学校観戦8万人につきましては、県や熊本市の教育委員会などの協力により、目標達成の見込みとなっております。

左下の表が、会場ごとの観戦者数目標、右下の表が開催都市ごとの入場者数目標となっております。

次に、6ページをお願いいたします。

(2) サポートカンパニー制度でございます。商工会議所などと協議して、創設させていただいた制度でございます。これによりまして、県内あるいは熊本にゆかりのある企業を対象に、応援いただけるよう協力の依頼を行っているところでございます。

下の(3)観戦ガイドブックは、学校単位での「一校一国運動」や企業などによる出場国の応援のために作成するもので、9月下旬から配布して大会本番に向けて準備していただくこととしております。

次に、下の7ページをごらんください。

4、大会ボランティアについてでございます。

(1) 募集結果は、昨年の第1期、ことし6月までの第2期を合わせまして、2,216人の応募があり、募集目標を上回ることができました。年齢層は、高校生や大学生が多く、性別では女性が多くなっております。また、語学ボランティアの希望者も、約30%となっております。観客の対応や会場運営など、大会の運営を支えていただきたいと考えております。

次に、8ページをお願いいたします。

5、会場整備についてでございます。

いずれの会場も、更衣室、大型ビジョン、照明、トイレの洋式化など、着実に整備が進んでおります。

次に、下の9ページをごらんください。

各会場の仮設整備スケジュールでございます。

県立総合体育館を除きまして、仮設観覧席の工事が主なものとなっております。

なお、県立総合体育館には、本設工事として大型ビジョン2面を設置することとしており、本大会後も国際スポーツ大会を開催することが可能となります。

全ての工事は、11月24日ごろには完了する予定でございます。

次に、10ページをごらんください。

6、ファンゾーン計画でございます。詳細は、現在具体的な詰めを行っておりますが、ページの右側に記載しておりますように、大会の基本理念と4つの柱に基づきまして、1、誰もが楽しめる大会、2、女性が活躍する大会、3、環境に配慮した大会、4、熊本らしさを感じる大会となるよう、ファンゾーンの運営を行うこととしております。

その下の11ページにつきましては、ファンゾーンの開催日程でございます。各会場の試合開催日に、ファンゾーンを開設することとしております。

次に、12ページをお願いいたします。

7、インフォメーション配置計画でございます。

図の一番上にごございますように、熊本市のコンベンション協会を核としまして、開催都市やゲートウェイにおいて、観戦客に大会情報や観光情報などの提供を行うこととしております。

次に、その下の13ページをごらんください。

8、一般観客等交通輸送実施計画でございます。

次の14ページにかけまして、会場ごとの輸送計画を記載しております。

ハンドボールにつきましては、基本的に自家用車や公共交通機関での移動を基本に考えております。

なお、次の14ページの下段にありますように、学校観戦につきましては専用の応援バスを、事務局と教育委員会等とで協力しまして運行することとしております。

その下の15ページ左側は、メディア関係者の輸送計画図を記載しており、右側には試合当日の混雑緩和等のため、会場までのアクセス方法や交通規制内容を事前告知する、交通広報計画を記載しております。

次に、16ページをごらんください。

9、出場チームによる視察でございます。

優勝を狙います前回優勝国のフランスとノルウェーのチーム関係者が第一陣として、今月初めに会場等の視察に訪れられました。

下段の10、選手等との交流、おもてなしにつきましては、現在、事前キャンプ等の調整を行っておりまして、次の下の17ページの上のほうにありますように、オーストラリアが佐賀県で事前キャンプを行うほか、既に幾つかの国のキャンプが決定しております。

県内では、一番下にありますアンゴラが玉名市でキャンプを行う予定となっております。

なお、ほかの県内の複数の市町村においても、受け入れを検討いただいているところでございます。

その下の(2)レストデー、エクスカージョンの実施につきましては、県民との交流や、熊本の魅力を感じていただく機会を設けることとしております。

また、(3)障害者支援施設等と連携した取り組みも、積極的に進めることとしております。

次に、18ページをごらんください。

11、大会運営体制でございます。

ちょっと図が細かくて恐縮ですが、パークドームの運営体制としまして、統括本部の下にさまざまな班を設けまして、大会の運営を円滑に行うこととしております。

右下に、大会従事スタッフの延べ人数を記載しております。県や開催市、競技団体、ボランティアなどで大会全体を通じて2万800人余りのスタッフに、御協力いただくこととなっております。

下の19ページには、もう残り少なくなっておりましたが、12としまして今後の主なスケジュールを記載しております。

議題1につきましては、以上でございます。

○池田和貴委員長 次に、議題2、ラグビーワールドカップ2019熊本開催に関する件について説明をお願いいたします。

○坂本国際スポーツ大会推進課長 それでは、議題2、ワールドカップ2019熊本開催に関する件について、御説明いたします。

20ページをごらんください。

下の21ページにかけまして、大会概要について記載してございます。

次に、22ページをごらんください。

2、チケット販売でございます。

(1)現在の販売状況につきましては、組織委員会によりますと、全試合の販売総枚数約182万枚のうち、8月までに約90%が販売済みとのことでございます。

本県も同様の状況ということで、大分残り少なくなっておりますが、3万人の2試合が満席となるよう、ラストスパートの対策を講じてまいります。

下の23ページをごらんください。

(2)ラグビートップリーグを活用した機運醸成でございます。

7月20日に開催されたトップリーグカップ、コカコーラと釜石の対戦を、復興絆マッチとして、機運醸成の取り組みを行いました。

次に、24ページをごらんください。

上段は、3、ボランティアについてでございます。

研修等の実施を行い、既に大会に向けた準備が整ってきたところでございます。

下段から次の25ページにかけまして、会場整備について記載しております。

照明のLED化、座席の改修、2面目の大型スクリーンなど、おかげさまで着実に整備が進んでまいりました。

なお、25ページの下段にありますように、強化プラスチックを用いまして、高さ3.9メートルのラグビーボールモニュメントを、会場の付近に設置する予定としております。9月25日完成予定でございます。

次に、26ページをお願いいたします。

会場仮設整備スケジュールでございます。仮設照明の設置、仮設トイレ工事、仮設防犯カメラ設置などを、10月1日ごろには工事を完了する予定でございます。

下の27ページをごらんください。

5、ファンゾーン計画でございます。収容人数は、全体で3,500人を計画しております。ステージイベントのほか、熊本の文化、観光、食のPRなども行います。

開幕日、いよいよあしたに迫りました開幕日の20日夕方に、オープニングセレモニーを開催することとしております。

28ページをごらんください。

一番上の枠に、参考としまして、フランス対トンガ戦の日に、新市街商店街で本県の農水産品などをPRするマルシェを実施する旨、記載させていただいております。

その下の6、会場周辺でのおもてなしイベントをごらんください。えがお健康スタジアムのいこいの広場で、試合開始前に観光や食のPRを行うブースを設置するとともに、熊本の文化を紹介するステージイベントなどを実施することとしております。

下の29ページをごらんください。

7、インフォメーションセンター設置計画でございます。

熊本市中心市街地のファンゾーンにインフォメーションセンターを設けて、そこを核としまして熊本市内中心部やゲートウェイのインフォメーションセンターと連携し、交通アクセス情報や観光情報などを提供することと

しております。

次に、30ページをごらんください。

8、コールセンターの設置でございます。9月2日から既に設置しておりまして、特に交通輸送情報を中心としまして、観光情報などの問い合わせに対応するため、英語、フランス語、韓国語など18カ国語に対応できる専用ダイヤルなどを設置しております。

下の31ページをごらんください。

9、観戦客等交通輸送実施計画でございます。シャトルバスやパーク&バスライドなどにより、3万人の観戦客を円滑に輸送することとしております。

次に、32ページ、33ページをごらんください。

輸送ルート概観及び会場周辺道路規制及び駐車場利用計画でございます。一般車両につきましては、会場周辺において通行どめや駐車禁止の規制を実施することとしております。

次に、34ページをごらんください。

10、地域交流計画関係でございます。

熊本で試合を開催する国・地域との交流事業について、ラグビー教室、学校交流事業、音楽などイベントへの参加など、7月以降に実施したものを記載しております。

下の35ページをごらんください。

11、ラグビーの大会運営体制でございます。

試合運営本体は、東京の組織委員会が行いますので、開催都市といたしましては交通輸送、周辺警備、ファンゾーン運営などを行うこととなっております。

2日間の試合開催日を中心としまして、約2,200人の職員が運営に当たる予定となっております。

議題2につきましては、以上でございます。

○池田和貴委員長 次に、議題3、東京2020

オリンピック・パラリンピック競技大会に関する件について、説明をお願いいたします。

○坂本国際スポーツ大会推進課長 議題3、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に関する件について、御説明いたします。

まず、36ページをごらんください。

1、大会概要について記載しております。

次の37ページは、オリンピック及びパラリンピックのチケット販売の概要でございます。8月から、パラリンピックチケットの販売が始まっております。

左下の米印にありますように、公式販売サイトでチケット購入の際にはID登録が必要です。その下の米印に、チケットの価格の概要について記載しております。

次に、38ページをごらんください。

下の39ページにかけまして、3、キャンプ地の誘致についてでございます。

38ページの表にございますように、現在の誘致状況は、この表のとおりとなっております。

新しいものとしましては、7月にバドミントン男女日本代表の事前キャンプ、それからアンゴラのハンドボール女子の事前キャンプが、決定しております。

次に、40ページをごらんください。1ページめくって40ページをお願いいたします。

4、選手育成に関することについてでございます。

(1)オリンピック選手育成事業につきましては体育保健課、次の41ページの(2)パラリンピック選手育成・強化推進事業につきましては、障がい者支援課において取り組みを進められております。

まず、(1)オリンピックにつきましては、40ページの表に、ことし9月6日時点の育成指定選手選考競技成績を一覧表にまとめております。その中で、出場大会名ですとか、一

番右の成績欄に、その大会で優勝された選手ですとかベスト8などの結果が記載されております。

次に、下の41ページ、(2)パラリンピックにつきましては、6月18日に強化指定選手7名が決定され、その一覧を下段のほうに記載してございます。

一番下の表は、そのうち卓球の垣田選手の成績が記載されており、ジャパンオープンで優勝されたとのことでございます。

次に、42ページをごらんください。

5、機運の醸成に関することでございます。

その中で、まん中あたりにございます、②教員セミナーを8月1日に県民交流館パレアで実施されております。

次に、下の43ページをごらんください。

6、聖火リレーについてでございます。

(1)これまでの動きについて記載しております。

本県のリレー日程は、5月6日、7日の2日間でございます。

続きまして、44ページをごらんください。

(2)聖火リレー実施市町村及び聖火ランナー募集概要の発表についてでございます。

下段のイ、聖火ランナーの募集にありますように、応募要件は2020年度に中学1年生以上の人などとなっております。

その右の表の応募先、選定人数の一番右の枠にありますように、全国のランナー総数は約1万人となっております。その左枠の選定人数にありますように、その全体人数の中で70から75%程度は、スポンサーや組織委員会関係等が応募先となっております。各都道府県の枠は、1日22名となっております。

下の45ページをごらんください。

本県の聖火ランナー選定についてでございます。選定人数は、44名でございます。2日間で44名でございます。うち30から35人程度を、公募により選定することとしておりま

す。そのほかは、著名人のPRランナーなどを予定しております。

③本県での公募についてと、④応募状況についてにありますように、全国の都道府県と同様に、8月31日まで本県での募集を行い、応募総数は2,129人でした。

⑥当選発表についてのとおり、ことし12月以降に組織委員会が当選者を決定し通知されることとなっております。

議題3については、以上でございます。

○池田和貴委員長 次に、議題4、国際スポーツ大会の成功に向けた取り組みに関する件について、説明をお願いいたします。

○坂本スポーツ大会推進課長 議題4、国際スポーツ大会の成功に向けた取り組みに関する件について、御説明いたします。

46ページを请您先ください。

1、国際スポーツ大会推進部の取り組みについてでございます。

(1)さらなる機運醸成、盛り上げに向けた取り組みについては、経済団体、文化団体、商店街、国際交流団体などと連携して、大会開催に向けて盛り上げを最大化してまいります。

下の47ページを请您先ください。

イ、各種広報PR活動でございます。

全庁を挙げた機運醸成を図るとともに、女子ハンドボール世界選手権大会につきましては、⑥大会テーマソングにつきまして、八代亜紀さんと著名な音楽プロデューサー、作詞家の協力を得て制作したところでございます。

また、⑨にございますとおり、9月5日に大会特別サポーターになっていただいております八代亜紀さんから、右下にあります⑨の絵、絵画「躍動」を寄贈いただきました。この絵画は、大会の優勝トロフィー、入賞メダルとともに、開催市を巡回することとしてお

り、明日まで県庁1階ロビーで展示しております。

次に、48ページを请您先ください。

ラグビーワールドカップにつきましては、下段、ウ、「Japan Expo」でのPR活動・出場国訪問にありますように、7月に九州各県と連携してフランスでのプロモーション活動を実施いたしました。

下の49ページを请您先ください。

「熊本国際スポーツ大会実行委員会」担当責任者会合を7月に実施し、チケットングやおもてなしなどについて、民間の方々を中心に協力を依頼させていただきました。

オ、「祭りアイランド九州」と連携したPRにつきましては、今月末に開催されるイベントと連携しまして、九州・山口各県とともにPR活動を実施することとしております。

最後に、50ページを请您先ください。

(2)大会を成功に導くためのおもてなしの展開でございます。

熊本らしいおもてなしの取り組みを県民一丸となって展開できるよう、さまざまな団体と協議を行っております。

左下にあります図は、商店街や飲食店における、英語対応のために作成した指差しシートでございます。タクシー協会や熊本市交通局においても同様のシートを作製されているところでございます。

当課の説明は、以上でございます。

この後、関係課から説明させていただきます。

○波村国際課長 国際課長の波村でございます。

私からは、海外からの誘客の取り組みについて、説明いたします。

資料51ページをお願いいたします。

ターゲット国につきましては、ラグビーはフランス、イギリスのウェールズ、そして強豪国であり、大分で試合がありますオースト

ラリア、ニュージーランドでございます。

女子ハンドボールは、前回優勝のフランスそして前回開催のドイツと、強豪国であるノルウェー等の北欧諸国、そして韓国をターゲット国としております。

次に誘客対策でございますが、FIT対策に重点を置きつつ、現地旅行会社への旅行商品造成や、くまモンを活用するなど、熊本県そのものの認知度アップに向けて働きかけを行ってまいりました。

続きまして、これまでの取り組みについて説明いたします。

52ページをお願いいたします。

まず、FIT対策の情報発信でございます。

これまで関係機関と連携しながら、メディアやブロガーなどを招請した情報発信やホームページや、SNSによる情報発信に取り組んでまいりました。

前回委員会以降の主な取り組みでございますが、まず2番でございますが、オーストラリアの大手旅行雑誌である「International Traveller」で、中岳火口などの観光情報を発信しております。

次に3番でございますが、イギリス最大級のラグビーメディアであります「Rugby World」の雑誌及びウェブサイトなどで観光情報を発信しております。

次に4番でございますが、イギリスの主要旅行雑誌の「Wander lust」の記者を招請して、鍋ヶ滝やくまモンなどの情報発信を行っております。

53ページをお願いいたします。

6番でございますが、デジタルマーケティングによる情報発信として、ターゲット国の1つでありますフランスへ動画を配信するキャンペーンを8月から実施しています。

9月からは、イギリス、オーストラリアに加えて、旅前、旅中でのキャンペーンを実施することとしております。

次に、プロモーションとセールスでございます。これまで関係機関と連携して、イギリス、フランス、北欧などでのプロモーションやセールスを行っております。

54ページをお願いいたします。

前回委員会以降の主な取り組みでございますが、7番は7月4日から7日にかけて開催されました、ヨーロッパ最大の日本文化の博覧会Japan Expoにおいて、ラグビーワールドカップや、本県の観光情報のPRを実施しております。

次に8番でございますが、JTBヨーロッパを訪問し、ハンドボールのターゲット国でありますドイツで観光情報等のPRを実施しております。

次に、受け入れ環境整備でございます。

これまで多言語コールセンターの設置・運営、くまもとフリーWi-Fiの整備、受け入れ環境整備説明会の開催等を促進するなど取り組んでまいりました。

55ページをお願いいたします。

前回以降の主な取り組みでございますけれども、12番、飲食店向けの受け入れ説明会としまして、熊本市と連携しラグビーワールドカップの大会直前セミナーを9月3日に開催いたしました。飲食店、ホテルなどを中心に約170名の参加がありまして、トリップアドバイザーを活用した情報発信の有効性等について説明したところでございます。

続きまして、58ページから今後の予定について掲載しております。

この中で、主な取り組みについて説明させていただきます。

まず2番でございますけれども、大会期間中にターゲット国のエージェントやメディア等と連携して、大会及び観光情報等の発信を行うこととしております。

次に3番でございますけれども、本県を訪れた観光客に観光地や飲食店の情報をSNSでハッシュタグを付けて情報発信していただ

くためのキャンペーンを九州観光推進機構、大分県、福岡県と連携して実施することとしております。

次に5番でございますが、これも福岡と大分と連携いたしまして、トリップアドバイザーのホームページを活用して観光情報を発信する取り組みを実施いたします。

最後に、59ページでございます。

9番でございますけれども、先ほども説明がありましたけれども、祭りアイランド九州、9月28日、土曜日から29日にかけて、九州・山口の祭りが熊本に集結することとなっております。これもラグビーの活気づけにつなげたいと思っております。

私からの説明は、以上でございます。

○渡邊農林水産政策課長 農林水産政策課でございます。

県産食材等に関します取り組みを御説明申し上げます。

資料は、64ページをお願いいたします。

前回委員会以降の取り組みを中心に、御説明申し上げます。

下の65ページをお願いいたします。中段以下が、今年度の取り組み予定でございます。

①にありますとおり、ラグビーワールドカップのファンゾーンにおきまして、県産牛肉や温州ミカン、ジビエ料理等の県産農産物の販売PRブースを出展いたします。

また、2つ目のポツにございますとおり、新市街におきまして「お・も・て・な・しまルシェ」というものを開催いたしまして、煎茶道の体験ブースの出展やイグサコースターの販売等による和のおもてなしを開催する予定でございます。

また、女子ハンドボール世界選手権大会の試合会場を中心に、同じく地元農産物のPRや、おもてなしも実施してまいります。

②でございますが、10月の1日から12月25日にかけて、地産地消フェアを開催いた

します。

また、③にありますとおり、大会に合わせてホテルや観光施設、空港やJR熊本駅等におきまして、県産の生花を利用したおもてなしを実施予定であります。

本県の魅力ある農産物を、機会を逃さずPRしてまいります。

66ページをお願いいたします。

東京オリンピック・パラリンピックに向けた取り組みでございます。

これまでの取り組みの①にございますとおり、選手村への飲食提供事業者への県産食材利用に向けた働きかけを継続してまいります。

8月30日には、東京の豊洲市場におきまして、くまもとGAP農産物フェアを開催いたしました。11月にも、第2回を予定しているところでございます。

次のページ、下のページをお願いいたします。

選手村に併設されますビレッジプラザに、県産木材の提供をいたしているところでございます。中段の写真、左側にありますとおり、8月20日には地元の先生方を初め関係者の皆様の御参加を得まして、出発式のイベントを開催し、納品いたしたところでございます。

下段の今後の取り組みでございますが、引き続き飲食提供事業者等への売り込みPRを図りながら、調達基準を満たす品目と生産量の拡大を推進いたしまして、特にくまもと県版GAPにつきましては1,000経営体の認証を目標に推進してまいります。

農林水産政策課からは、以上でございます。

○上野健康危機管理課長 健康危機管理課でございます。

資料の68ページをお願いいたします。

国際スポーツ大会に係る食中毒、感染症と

衛生に関する取り組みにつきまして、前回の委員会以降の取り組みを中心に御説明申し上げます。

まず、①食中毒の未然防止に係る取り組みについてですが、「大規模イベント向け食品衛生の手引き」を活用しまして、宿泊施設や弁当調整施設等、食品関係施設に配布をいたしまして、食品の取り扱いについての注意喚起を図りました。

この際、県所管の宿泊施設80カ所に対しまして、食事の微生物検査、厨房の拭き取り検査と衛生指導を行っております。

また、大会事務局と連携いたしまして、「2019女子ハンドボール世界選手権大会食品衛生対策実施要領」を作成いたしましたので、今後、選手宿泊施設や飲食物提供事業者などに対しまして説明会を開催するとともに、立入検査を行うことにしております。

次に、②感染症の蔓延防止に係る取り組みについてですが、大会開催に伴います交流人口の増加に備えまして、特に感染拡大リスクが高い麻疹や風疹の抗体検査、予防接種を勧奨するチラシを作成いたしまして、観光事業者を中心に注意喚起を行い、観光事業者の感染防止、さらに観光事業者からの感染拡大防止を図っております。

具体的には、熊本県旅館・ホテル生活衛生同業組合の各支部総会、県観光連盟に注意喚起のチラシの配布やメールの一斉送信を依頼、また飲食業などの事業者に対しましては、食品衛生協会を通じまして注意喚起を図っているところでございます。

次に、③健康危機発生に備えた体制整備についてですが、まず大会事務局と連携いたしまして、健康危機発生情報の共有、迅速な対応を図るために緊急連絡網の整備を終えたところでございます。

さらに、輸入感染症の患者発生を想定しました患者搬送訓練、イベントのために一時的に大勢の人々が集合する、いわゆるマスギャ

ザリングにおきます感染症発生の探知に関する研修、県警や県医師会などの関係機関を含めました県下一斉の訓練を実施したところでございます。

感染症リスクの評価につきましては、熊本県内におけるマスギャザリング時の輸入感染症を中心とする感染症の発生のリスクの評価と対策につきまして検討を終え、各保健所にも周知をしたところでございます。

以上、前回の委員会以降に取り組んだ内容でございます。

健康危機管理課は、以上でございます。御審議のほど、よろしくお願いいたします。

○上塚教育政策課長 教育政策課でございます。

71ページをお願いします。

(5)国際スポーツ大会に係る教育委員会等の取り組みについて、御説明いたします。

ア、競技の普及活動、情報発信等をごらん願います。

②ふれあいスポーツ事業につきまして、10月14日の体育の日にハンドボール教室などを開催し、大会の盛り上がりにつなげてまいります。

72ページをお願いします。

イ、一校一國運動の取り組みをごらん願います。

枠囲みに記載しております一校一國運動の3本柱である、1、大会事前事後学習、2、交流学習、3、応援国学習に引き続き取り組んでいるところです。

主な取り組みについて御説明いたします。

①教育委員会チーム会議につきまして、今後9月と11月に開催し、大会の成功に向けて教育委員会各課、私学振興課が連携して取り組みを進めてまいります。

73ページをお願いします。

④小説、テーマソングCD、⑤観戦ガイドブックにつきまして手配ができ次第、学校等

への配付を進めてまいります。

74ページをお願いします。

⑥女子ハンドボール世界選手権大会学校観戦につきましては、8月に公立、私立全ての学校に対し学校観戦人数等調査を実施し現在、集計、調整を進めておりますが、学校観戦者数の目標を達成する見通しでございます。

以上でございます。よろしく申し上げます。

○春日警備第二課長 県警の取り組みにつきまして、御説明いたします。

75ページからでございます。

安全・安心な大会開催に向けた警備対策といたしまして、ラグビーワールドカップの警備につきましては、国際スポーツ推進事務局や警備担当業者など関係機関との合同による試合会場の実査や各種訓練などを反復実施いたしまして、万全の体制で臨むこととしております。

また、当初予算でテロ防止啓発動画を作成いたしまして、上通り入口の街頭ビジョンや県警公式ホームページで現在、公開しているところであります。

②テロ対策パートナーシップ推進会議くまもとによる官民連携した活動につきましては、官民連携によるテロ対策につきまして、8月5日、全国高校総体ハンドボールの会場におきまして、これは山鹿総合体育館でございますが、広報グッズを配布し、テロの未然防止への協力を呼びかけました。

また、8月26日に第2回目の推進会議を実施し、東京地下鉄サリン事件の際に負傷者の救助に従事した医師を招聘しまして、講演会を開催し、危機管理レベルの向上に努めました。

また、⑥繁華街対策の強化ということで、熊本中央警察署は防犯協会と協同し、客引き防止対策のため、4カ国語で作成したポケッ

トティッシュ1万個を作成・配布いたしました。

続きまして今後の取り組みですけれども、76ページになります。

安全・安心な大会開催に向けた警備対策といたしまして、ラグビーワールドカップにつきましては試合当日、最大警察官500人を動員し、万全の警備態勢で臨むこととしております。

②テロ対策パートナーシップ推進会議くまもとによる官民連携した活動につきましては、引き続きこの枠組みを活用いたしまして、県警ホームページを活用した情報共有を行ってまいります。

⑥繁華街対策の強化につきましては、本年4月1日に施行されました熊本県風俗案内業の規制に関する条例及び熊本市客引き行為等の禁止に関する条例など、あらゆる法令を活用した取り締まりを強化するとともに、熊本市など関係機関、団体と連携した繁華街の健全化に向け、対策を強力に推進していくこととしております。

また、⑦国際スポーツ大会に便乗した商標法違反等取り締まりの強化につきましては、ラグビーワールドカップなどの国際スポーツ大会試合会場周辺における偽ブランド商品、ロゴマークの無断使用などの販売行為に対し、主催者、関係機関等と連携の上、取り締まりを強力に行ってまいります。

以上です。

○池田和貴委員長 以上で執行部からの説明が終わりましたので、質疑に入ります。

まず、(1)2019女子ハンドボール世界選手権大会熊本開催に関する件について、何かありませんか。質疑ありませんか。

なければ、次に(2)ラグビーワールドカップ2019熊本開催に関する件について、質疑はありませんか。

○内野幸喜委員 いよいよ、あしたからラグビーワールドカップが始まります。熊本の試合も、2週間後に始まります。

最初は、一ファンとして世界のトップレベルの試合を見られるという感覚だったけれども、職員の皆さん方の頑張りを見てると、とにかく何事もなく無事に終えてほしいという気持ちです。これはハンドボールも一緒です。

だから、今週末に台風が発生するというところで、天候なども非常に気になるんです。

ラグビーの場合は、予選プールに関しては、そうした台風が来た場合は、延期じゃなくて中止という決定になっています。

そうしたときに、仮にそういったことがあって、知らずに会場に来た方は、混乱するんじゃないかと思います。そういった決定というのはいつあって、またそうなったときの対応は当然考えていらっしゃると思うんですが、そういうことはないほうがいいんですが、やっぱり最悪のことも考えるべきと思うので、そういったところというのは、どういうふうにしているのか。

○坂本国際スポーツ大会推進課長 まず決定の時期までに、しばらく時間がありますので、具体的な、いつ、どのくらい前に連絡がくるというのはございませんが、組織委員会と連携をとりながら、本来の受け入れ態勢を組んでおりますので、その中からそういった危機に対応する体制を緊急に組んで、しっかり対応してまいりたいと思っております。

○内野幸喜委員 しっかりと、お願いしたいと思います。

それと、10月13日、ウェールズとウルグアイ戦が5時15分からですね。大体7時ぐらいに終わる予定で、その日が日本とスコットランドの試合で、これは花畑公園でありますけれども、終わってからでは、たぶんファンゾー

ンには間に合わない。何とか会場で観戦できないか。特に、来られる方というのは日本戦というのを非常に注目している方が多いと思うんです。その点は、今から言っても難しいですよ。

○坂本国際スポーツ大会推進課長 会場の中というよりも、先ほどの隣接する広場のほうで、ビジョンを設けて観戦できないかという協議を組織委員会とさせていただきましたが、それはできないということでございました。ちょっと途中で抜けるというのも何ですが、バスの輸送につきましては一応そのような御希望のある方も想定しまして、前半の試合終了後に一部のバスは動かすというような態勢はとることとしております。

○池田和貴委員長 いいですか。はい。
ほかにありませんか。

○橋口海平委員 先日、テストマッチ日本対南アフリカ戦を、寺野部長とパブリックビューイングゾーンで拝見させていただきました。

そのときに感じたのが、向こうの会場では、南アフリカの国歌が流れているときには、みんな起立し、前から練習していたと思うが、大きな声で歌って会場を盛り上げていた。パブリックビューイングのところでは、日本の国歌が流れたときにはみんな立って歌っていた。やっぱり相手に敬意を表するという意味でも、立って歌ったほうがいいと思うが、そのところについて、何か対応できるのか。

○坂本国際スポーツ大会推進課長 済みません、貴重な御意見ありがとうございます。

現在そこまでのおもてなしの対応の準備ができておりませんが、ファンゾーンの運営の中できっちり、パブリックビューイングが

始まる前、または本大会の前には、そういった態勢がとれるように、関係者の方々に周知を図って、双方の国をしっかりと応援できるようにしたいと思います。ありがとうございます。

○橋口海平委員 前の日本代表のキャプテンだった廣瀬が、ユーチューブに出て、各国の国歌を一緒に歌ったりする動画もあるので、ぜひそういうものも活用し広めてほしい。

それと、もう1点ですが、これは要望で、ぜひ大会期間中に経済効果を拡大させるためにビール等を飲んでほしいと思う。ラグビーにはバッファローという文化があって、右手でビールを飲んだら「バッファロー」と言われて、飲み干さないといけない。一気飲みは禁止ですけど、飲み干さないといけない。端っこにビールを置いて飲んでも「バッファロー」と言われ、また「バッファロー」と指差した者も「バッファロー」と言われて、飲み干さないといけない。そういう文化があるので、ぜひファンゾーンの中、ビール売場に、何か1枚紙があって、こういう文化があるのでぜひ、一気飲みはだめだけど飲み干してくださいという……。

○坂本国際スポーツ大会推進課長 まだ準備が整っていません。あすには間に合わないかもしれませんが、そのような表示につきまして準備するようにしてまいりたいと思います。

なお、関連しまして、ビールにつきましては、たくさんビールを飲まれるということで、商工会議所等の会合におきまして、十分なビールの在庫の確保、またはお店や飲食店において、飲み放題は余りされないほうがいいですよといったことについては、できるだけ周知を図っております。

それから、個別のビールメーカー、酒類の

卸店、飲食店等から情報を収集したところでは、現時点で通常以上の在庫確保は行っておられるということです。本県の試合は開幕後2週間以上経過してからですので、ほかの会場の様子も見ながらビールの確保等をしっかり行ってまいりたいと思います。

○池田和貴委員長 よろしいですか。

○橋口海平委員 はい。

○池田和貴委員長 ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○池田和貴委員長 ないようですので、次に(3)東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に関する件について、質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○池田和貴委員長 ないようですね。

なければ、次に(4)国際スポーツ大会の成功に向けた取り組みに関する件について、質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○池田和貴委員長 なければ、質疑はこれで終了したいと思います。

寺野部長どうぞ。

○寺野国際スポーツ大会推進部長 きょうは発言の機会がございましたので、大会前に少し思いを述べさせていただきます。

御案内のとおり、あしたから日本・ロシア戦を皮切りにラグビーワールドカップが開幕します。本県の試合は、来月の6日と13日でございます。

心配しておりましたけれども、委員の皆様また県議会の先生方もお力添えをいただきまして、会場いっぱいのお客様で選手を迎えることができる見込みとなりました。御礼申し上げます。ありがとうございます。

本県で行います2試合をしっかりと盛り上げ

まして、11月30日から開幕します女子ハンドボール世界選手権に向けまして大きな弾みとなるよう、万全な準備を整えてまいります。女子ハンドボールにつきましては、集客目標30万人です。今から佳境を迎えます。2つの国際大会を必ず大成功につながれますよう全力で取り組んでまいりますので、引き続き御支援・御協力のほどよろしくお願い申し上げます。

以上です。

○池田和貴委員長 頑張りましょう。お疲れさまです。

次に、閉会中の継続審査についてお諮りをします。本委員会に付託の調査事件については、審査未了のため次期定例会まで本委員会を存続し審査する旨、議長に申し出ることとしてよろしいでしょうか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○池田和貴委員長 はい。異議なしと認め、そのようにさせていただきます。

次に、その他として何かございませんでしょうか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○池田和貴委員長 ないようでございますので、それではこれもちまして本日の委員会を閉会させていただきます。お疲れさまでございました。

なお、委員の皆様については、連絡事項がございますので、しばらくお待ちください。

午後1時51分閉会

熊本県議会委員会条例第29条の規定によりここに署名する

国際スポーツ大会推進特別委員会委員長